



報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
ロイヤルホームセンター株式会社

大和ハウスグループ2社が「PRIDE 指標2024」でゴールドを受賞

大和ハウス工業株式会社(本社:大阪市、社長:芳井敬一、以下「大和ハウス工業」とロイヤルホームセンター株式会社(本社:大阪市西区、社長:中山正明、以下「ロイヤルホームセンター」)は、2024年11月14日、職場における性的マイノリティ(以下、LGBTQ+)への取組みの評価指標として、任意団体 work with Pride が策定する「PRIDE 指標 2024」において「ゴールド」を受賞しました。

1. 大和ハウス工業での取り組み

大和ハウス工業では、第7次中期経営計画において、女性やシニア、LGBTQ+など多様な人財が安心して能力を発揮できる職場風土を醸成する「ダイバーシティ&インクルージョン」を掲げ、様々な取り組みを行っています。LGBTQ+の観点では、全社員に対する研修や啓発イベントへの動員、入社時のEラーニングなどによる理解促進、専門知識をもつ外部スタッフによる相談窓口の設置などを実施しています。また、配偶者と同様の福利厚生や規定を同性パートナーにも適用しており、利用実績は増えています。

大和ハウス工業は、こうしたLGBTQ+への継続的な取り組みが評価を受けており、「PRIDE 指標」において、2021年から4年連続で最高位の「ゴールド」を獲得しています。

●大和ハウス工業でのダイバーシティ推進の取り組みについて

<https://www.daiwahouse.com/sustainable/social/employee/diversity/person02.html>

2. ロイヤルホームセンターでの取り組み

ロイヤルホームセンターでは、国籍、年齢、性別、障がいの有無、性的指向と性自認に関わるあらゆる差別を排除し、すべての従業員が尊重される職場環境づくりを目指しています。LGBTQ+については、社内報や従業員への研修などの啓発活動に加え、2024年度には「同性パートナーシップ制度」を導入し、結婚休暇や住宅手当、慶弔見舞金の支給など一部福利厚生制度において、同性パートナーも利用できるような制度を拡充しました。

ロイヤルホームセンターは、こうしたLGBTQ+への取り組みにより、2022年、2023年に「PRIDE 指標」において「ブロンズ」を受賞し、2024年には「ゴールド」を獲得しています。

今後も大和ハウスグループはSDGsの達成に向け、LGBTQ+はもちろんのこと、女性や障がい者、シニアを含む多様な人財が多角的な視点を持って企業経営に参画できるよう、ダイバーシティ経営の強化に努めていきます。

● 「PRIDE指標」について

「PRIDE 指標」は、任意団体 work with Pride が LGBTQ+の働きやすい職場づくりを目指し、2016 年に日本で初めて策定した、企業・団体などの取り組みを評価する指標です。指標は「PRIDE」の各文字に合わせた5つの評価指標 (**P**olicy (行動宣言)、**R**epresentation (当事者コミュニティ)、**I**nspiration (啓発活動)、**D**evelopment (人事制度・プログラム)、**E**ngagement・**E**mpowerment (社会貢献・渉外活動)) で構成されています。「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」の三段階で評価され、「ゴールド」認定の企業のうち国・自治体・学術機関・NPO、NGO などとの、セクターを超えた協働を推進する企業を「レインボー」認定しています。



「PRIDE 指標」ホームページ : <https://workwithpride.jp/pride-i/>

以 上

お問い合わせ先		
広報企画部	広報グループ	0 6 (6 3 4 2) 1 3 8 1
	東京広報グループ	0 3 (5 2 1 4) 2 1 1 2